一般社団法人 神奈川県作業療法士会

KAOT

# 神奈川県作業療法士会ニュース

2014年7月
No.168

神奈川県作業療法士会ニュース168号　目次

1 巻頭言
3 WFOT大会ありがとうございました！
4 WFOT2014に神奈川県作療法士会がブースを出展しました！
5 学生・新人対象プログラム報告／学生の皆さんご協力ありがとうございました！
6 認知症の作業療法（前編）
8 第15回県学会　演題募集
9 第15回県学会　演題募集（詳細）
10 第15回県学会　協賛金・プログラム集広告募集のご案内
11 平成26年度研究助成事業　研究課題募集のお知らせ／第１回「昭和上條医療賞」平成26年度顕彰募集のお知らせ
12 各部からの報告
14 理事会報告
15 SIGからのお知らせ
17 求人案内
19 「第41回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」
20 平成26年度　神奈川作業療法研究　投稿論文募集のお知らせ／編集後記

## 巻頭言

# WFOT2014を終えて

神奈川県作業療法士会　副会長
WFOT2014 team japan後援展示委員会　委員長　錠内広之

「終わりました。やっと終わりました。」これが、WFOT2014組織委員会（team japan）メンバーの正直な気持ちです。“ほっ”としたのと同時に“どっ”と疲れが出ました。

６月17日（火）は、朝から各所で準備が始まりました。午後２時頃、宮内庁や神奈川県警の方が20名程やってきました。天皇皇后両陛下の展示ホールご視察と開会式へのご臨席に伴うセキュリティーチェックです。中村春基大会長も、テレビで見たことがありそうな宮内庁の方と陛下の動線を確認していました。午後４時頃、展示ホールは異様な緊張感に包まれました。神奈川県警が先導しパトカーや白バイがやってきました。しばらくこの列が続き、いよいよあの黒塗りの車が到着しました。テレビでよく見かけるあの車です。関係者一同、シーンと静まり返ります。体を動かしてはいけないのではないかと勘違いしているのか、皆、体が硬直しています。しかしながら、天皇皇后両陛下はいつもの笑顔に包まれていました。テレビのままでした。

中村大会長に誘導され展示会場を視察します。神奈川県士会のメンバーが患者さん役をしているブースに立寄りました。社会交流接遇委員会の清水委員長が説明しているのは、我が県士会メンバーが緊張した面持ちでベッドに横たわっているブースです。この場面はテレビでも放送されていました。その後、開会式にもご臨席いただきました。開会式は、両陛下の他に黒岩知事や林横浜市長も出席されました。

こんな風にWFOT2014は幕を開けたのです。この日は開会式の後、1000人は出席していたのでないかと思われるウェルカムパーティーが開催され、各国の参加者と交流がなされました。

ウェルカムパーティー。

6月18日（水）。口述発表、ポスター発表、各種ワークショップがいよいよ開催です。私はというと、初っ端の口述発表の座長です。同時通訳レシーバを右耳に引っ掛けます。英語が得意でない私は、左耳からは発表者の英語を聴き、右耳からは日本語の同時通訳が流れます。頭の中で英語と日本語が喧嘩しています。なかなか面白い経験をさせていただきました。

6月19日（木）。この日の夜、コングレスパーティーが大桟橋で開催されました。事前登録では大盛況のため多くの方が登録出来なかったようです。大桟橋の会場は海に浮いている場所です。そこに1000人からの参加者があったため、とび跳ねたり暴れたりする事は極力制限されました。開会にあたり参加した70以上の国を一つ一つ紹介していきました。自分の国が紹介される度にその国の人が大声で答えます。この場面、本当に圧巻でした。感動で涙がでました。寿司も含めたグローバルな料理をふるまい、飴細工などの実演試食、日本舞踊や刀を使ったパフォーマンスなど、企画した神奈川県士会スタッフの心憎いおもてなしが十分に伝わったパーティーでした。

6月20日（金）。ポスター発表での出来事。私のところに運営委員より連絡が来ました。「開始5分前ですが海外からの座長がまだ来ません。誰か代理を探して下さい。」5分前に探せるわけが有りません。何のセッションかも分らず私が代理で行きました。演題は5題です。舞い上がってしまい、発表者が日本人である事に気付かず「What your name?」。また5題目の演題は海外の方でしたが、ポスターが貼ってあるのに現われず。次の日も同じ事がありました。この時は私の目の前に浅井先生（北里大学）の姿を発見。快く引き受けてくれたのですが、この時は開始1分前に座長が現われました。海外の方でした。お国がらなのでしょうか、個人の問題なのでしょうか・・・。

6月21日（土）。いよいよ今日が最終日です。大江健三郎氏による市民公開講座、ロボット工学の山海教授、パラリンピックチェアスキー金メダリスト狩野選手など著名人によるセッションも開催され、一般市民やプレスも多く見受けられました。そして閉会式です。「閉会式ってこんなに多くの人が参加するの？」と思わず言ってしまう位、本当に多くの

神奈川のブースです。

あめ細工に興味津々！

企画盛りだくさん！

コングレスパーティー。

方が参加していました。1000人はいたでしょうか。閉会にあたり、冒頭に「フォトコンテスト」の表彰式がありました。大会中、展示ホールでは神奈川県士会メンバーを中心として、「障害者の暮らし展示」「文化交流～着物着付けやお茶の体験」、「障がい者スポーツ」、「作業療法活動紹介～海外協力活動や認知症セミナー」「障がい者作業所物品販売」など、多くの企画が同時開催されていました。その中で100点もの写真によるフォトコンテストも行われました。この表彰に続き、４年後になりますが次回の開催国、南アフリカ共和国の紹介がありました。そしてその後、WFOT2014組織委員に表彰状の授与が行われました。一人一人名前を呼ばれ、スクリーンには名前が表示され壇上中央でWFOT会長であるE.Sharon Brintnell氏より表彰状を授与されました。壇上から見る1000人からの参加者はまさに絶景でした。

こんな風に盛大に閉会されたのです。今回の大会参加者は6000名を超えたそうです。海外からの参加者も2000名近くありました。作業療法の将来性をこれまで以上に実感でき、また作業療法士になってよかったとあらためて思う事ができました。今回、残念ながら参加できなかった作業療法士には我々参加者が多くを伝える事がこれからの使命だと感じています。今回の学会で神奈川県士会の役割が大きかった事は紛れもない事です。神奈川県作業療法士会の皆さん、本当に御苦労様でした。どこかでお会いした時には、一人一人抱きしめたいと思います。

「英語をもっと勉強して南アフリカにも行きたいなー！」、と思います。

壇上で表彰状授与。

# WFOT大会ありがとうございました！

JAOT副会長
第16回WFOT大会2014　実行委員長兼大会副会長
山根　寛

### すべてが初めての中で！

神奈川県士会の皆さん、大変ありがとうございました。“第16回WFOT大会2014”は、市民公開プログラムの一般参加者やボランティアをのぞいても、約6400名という従来の国際大会の２～３倍という参加数になりました。“アジア初！日本発！”、世界大会と国内大会の合同学会、天皇皇后両陛下のご臨席、千葉での代表者会議、神奈川県士会を中心とする会場運営、WFOTとJAOTの共同プロジェクトTeam Japanによる企画運営、WFOT、JAOT、日本学術会議３者による主催という、すべてが初めてづくしの中、大盛況の内に幕を閉じました。

### 世界から“ありがとう”声が！

大会期間中はもちろんのこと、終わってからも世界の作業療法士から、日本各地から、参加してよかったという声が届いています。日本をあまり知らなかった海外の作業療法士が、日本に来てよかった、大会がすばらしいだけでなく、街がきれい、人がみんな親切、会場も町も安心で安全。そして国内の作業療法士の皆さんからは視野が変わった、言葉の壁を越えて交流ができてよかった。街の中からは、今まで知らなかったけど作業療法ってすごいんですね。など多くの“ありがとう”の声が届いています。

### 新たな扉が開かれました！

大会に参加された方、業務の都合などで参加ができなかった方、さまざまな形で運営にご協力いただいた方、本当に多くの皆さんの支えの中で生まれた場でした。特に大会会場の地元の神奈川県士会の皆さんには、当日の会場運営、コングレスパーティーの企画運営、見学ツアー、急遽企画があがった展示会場におけるJAOT企画など今大会の根幹を支えていただきました。多くの課題が次々と生じましたが、皆さんの力ですべてを乗り越えることができました。この経験はこれからのわたしたちの臨床の中で大きな力になるものと確信しています。

作業療法の新たな扉が開かれた大会でした。最後になりますが、神奈川県士会の皆さま大変ありがとうございました。 Team Japanのメンバーを代表してお礼を申し上げます。そして、これからもよろしくお願いします。

# 『第16回界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会（WFOT2014）』に神奈川県作療法士会がブースを出展しました！

神奈川県作業療法士会　広報部担当理事　出口弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

WFOT2014の会場となったパシフィコ横浜のホールＢにはポスター発表会場の他、JAOT主催の企画展示や多数企業の出展がありました。その会場のいわば目抜き通りに神奈川県作業療法士会のブースが構えられ、県士会冊子の無料配布やポスターによる活動の紹介などを行いました。簡単ですがこの記事にて会員の皆様にご報告を申し上げます。

ブース設営完了！

パンフレット拡大版ポスター

ブースの店頭（お店ではないがそんな雰囲気）では対外広報パンフレットと地域リハビリテーション部監修のALS支援方法に関する冊子が無料配布されました。OT場面の写真満載で評判の良いパンフレットは、今回英語版も作成し、海外の方にも配布させて頂きました。一部は拡大しポスター掲示することでブースのいわば「顔」となりました。またALS支援方法に関する冊子は特に訪問リハに関わる方に人気でした。さらに他都道府県士会の方にも是非当県士会サイトをご活用頂きたいとの思いからウェブサイトのURLにアクセスできるQRコード入りカードの配布も行いました。

OT 紹介パンフレット等を配布

一方展示は県士会のあゆみの他、教育部認定SIG団体一覧、学術部主催開催研修会一覧をカラーのポスターで、ウェブサイトのスライドショーとJAOT版『恋するフォーチュンクッキー』をパソコンディスプレイで行いました。今回のブースは国内の方にも多く来場頂き交流の場とすることも狙いであったため、これらの展示を行いました。一部の他都道府県士会の委員の方にもご来場頂けたことは、貴重な交流ともなりました。

さらに福祉用具委員会のコラボする横浜の「かながわ自助具工房」によるハンドメイド自助具も展示しましたが、おはしの自助具は海外からの来場者の方に人気がありました。やはり珍しかったようで、中には持ち帰りたいので帰国までに作ってくれと要望される方もいました（残念ながら応えられなかったのですが･･･）。

おはし自助具は海外の方に人気

上記の他、2015年開催の「第15回神奈川県作業療法学会」の宣伝や（写真にはありませんが後半のぼりによるアピールも行いました！）、川崎市の市民団体「かわさきＪプロジェクト+」によるWEBを活用した自助具支援に関するアンケートなどもあり、それほど広くないブースが毎日少しずつアップデートされ、様々なものがひしめいて活気のあるブースとなりました。お陰様でこのように盛況となりましたが、それだけでなく本学会の開催地・神奈川の士会がブース出展できたことは県士会の誇りともなり大変喜ばしいことでもありました。

海外来場者の方々

最後にこの場をお借りしてブースにご来場下さった方々に厚く御礼申し上げます。またブースの設置・運営にご協力下さった県士会会員の方々にも心より御礼申し上げます。

2015 年県学会の宣伝も

## 学生、新人対象プログラム

神奈川県立保健福祉大学　長山洋史

**【プログラム概要】** ６月21日（土）８:30～11:30、505会場にて「理想の作業療法に近づくための新しい価値観を築く」というテーマで学生・新人対象プログラムが開催されました。このプログラムは、首都大学東京の学生と神奈川県から国際医療福祉大学小田原学校と北里大学の学生が中心メンバーとして約２年間かけて企画されました。当日は、シンガポール、フランス、日本の学生によってそれぞれの国の作業療法についてのプレゼンが行われ、国を超えてディスカッションが行われました。

**【学生感想】** 大きな不安を抱えながら司会者席から全体を眺めていましたが、アイスブレイクが始まった途端、会場の雰囲気が変わり、我々学生委員が二年間求めてきたプログラムが形になることを実感しました。他では得ることができないこの経験を、未来の作業療法に還元していけたらと思います（北里大学　猿爪）。裏方に回ることが多く、当日も参加してくださった方と直接触れ合うことはできなかったが、それでも参加してくださった方々の楽しそうな様子を感じ取ることができ、このプログラムに関わることができて本当に良かったと感じました（国際医療福祉大学　武田）。前例のない白紙の状態から始めたこの学生新人対象プログラムでしたが、2年間を通して他大学や国境を越えた学生間の繋がりができました。本大会に携わってくださった学生委員、先生方、参加者のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです（首都大学東京浅川、髙橋）。

**【おわりに】** 各国の学生たちが言葉の壁を越え、世界が一つになり未来の作業療法について語り合っている姿を見て、作業療法の未来は明るい、そう思えたプログラムでした。

## WFOT2014congress閉幕！学生の皆さんご協力ありがとうございました！

WFOT2014congress　大会運営員会　学生ボランティア担当班班長　吉本雅一

去る６/17～21の５日間開催されました、WFOT2014congress、今大会では神奈川県、東京都の養成校の学生の皆さん総計300名弱のご協力をいただきました。大会に参加された皆さまはお気づきになられたかもしれませんが、道案内、クローク受付、コングレスバック受け渡し、通訳レシーバー受け渡しなどなど、オレンジ色のベスト着た学生スタッフが皆様の対応を一所懸命に行っていました。

始めは初めての学会参加、しかも英語！にとまどい、当初は固い表情でしたが、持ち前の明るさとガッツで、最終的には楽しい、ありがとうと言われて嬉しいと、生き生きとした表情でお手伝いを終えてくれたのが印象的でした。学校では決して経験できないことを体験して、また新たな夢に向かって頑張っていけるようです。

ご協力いただきました学生の皆さん、養成校の先生方、そして温かく見守ってくださいました参加者の皆様に感謝申し上げます。

# シリーズ「認知症の作業療法」ベテランOTへのインタビュー
## 認知症の作業療法　前編

学校法人古沢学園　広島都市学園大学　健康科学部
リハビリテーション学科　作業療法学専攻　作業療法士
谷川 良博 先生

**はじめに、谷川先生が認知症の方と関わるようになったきっかけをお聞かせ下さい。**

卒業後に就職した病院に老健が併設していて、ローテーションで老健勤務をしていました。老健には、認知症の方が沢山いましたので、自分で選んだというよりは、全くの偶然から認知症の方と関わり始めました。新人の２年間位は、認知症の方を対象としたグループワークのリーダーを任されていたのですが、僕はスタッフの中で１番と言ってよいほどグループワークが下手でした。他職種から、「谷坊」というニックネームを付けられ、あれこれダメ出しをされていました。私よりずっと経験のある看護師や介護士がいましたので、育ててもらったという感覚があります。今から思うと、本当に他職種から鍛えられましたね。

**「認知症の方に対する作業療法」には、はじめの頃から興味を持っていましたか？**

学生時代は、「認知症はリハビリの阻害因子」として習ってきたので、そもそも作業療法の対象とは思っていなかったです。でも、それまで病院で関わっていた患者さんの状況の延長線上だとは思えていたので、戸惑いはなかったです。その頃は、認知症の方との関わりに興味があるとか、悩んだというより、とにかく「他職種にダメって言われないように接しよう」と思って仕事をしていました。他職種から教わりながら、揉まれながら、認知症の方々との関わりをしていたという感じです。ですから、OTとして認知症の方を見るというよりは、“生活”だとか“看護”の視点が先に身についていったと思います。そこに暮らしている方がいて、一緒にケアするスタッフがいて、その中に自分がOTとして入っていったという感じです。

**今回インタビューをお願いしたのも、今や認知症の作業療法と言えば谷川先生、という印象があるからです。その後、そのように認知症との関わりを深めていきましたか？**

やはり小川敬之先生（現：九州保健福祉大学）との出会いは大きいですね。同じく福岡県出身で、初めの出会いは勉強会でした。小川先生は、その当時、認知症専門の特養の開設業務に携わっていました。その特養が私の家の近所だったこともあって時々遊びに行くようになり、ある日「OTを募集するから来ないか？」と誘って頂いたのです。僕としては、「小川先生と仕事ができるなら！」と喜んで約束をしたのです。しかし残念なことに、入れ替わりで小川先生が辞めてしまうことになりました。最終的には一緒に働くことができなかったのですが、そこで２年間働きました。ですから、認知症の作業療法にどっぷりと、というのはその認知症専門の特養からですね。特養はリハ職種必置ではないのですが、福岡の日赤系の特養はどこも、機能訓練指導員の名前でOTかPTがいました。デイサービスもあり、当時は珍しかったグループホーム、ユニットケアも導入しているところでした。小川先生が基礎を作り上げたところを、引き継いた形で仕事をしていきました。

**特養でのOTの仕事は、それまでの老健と違う部分はありましたか？**

そうですね。やはり、利用者や介護職を上から押さえつけようとする看護師の考えと、一緒にやろうとする私のやり方では、大きなギャップを感じましたね。ある時、男性介護職が認知症のおばあちゃんを「墓参りに連れて行きたい」と言いました。僕は「いいことだよ。行っておいで！僕も手伝うから」と、その介護職の男性に、管理職（看護師）に相談をするように伝えました。しかし、彼は「ダメだって言われた」と帰ってきたのです。「何て言われたの？」と聞いたら、「100人のわがままを、あんたは全員聞くんかい？」って言

**谷川良博 先生**　*profile*

九州リハビリテーション大学校卒業後、南小倉病院（現小倉リハビリテーション病院）に入職。その後、特別養護老人ホーム勤務を経て、平成18年から東郷外科はつらつデイケアの管理者代行として勤務。平成25年４月より、現職である広島都市学園大学リハビリテーション学科作業療法学専攻の講師として教壇に立つ。豊富な臨床経験から、認知症の方のこころに寄り添うケアについて語った「認知症の人のこころを紡ぐケア（三輪書店、2008）」も好評を得ている。

われたと。それに、「聞けません」と答えてしまったと…。「『聞く！』って言えばいいやん。僕が手伝うからもう１回話してきて！」ともう一度行かせたんですけど、また同じように叱られました。

結局、墓参りには行ったのですけどね。僕らのやり方に対して、管理職は相当気に入らなかったみたいです。「100人のわがままを聞けるのだったら、聞こう！」と考えている僕をはじめとするスタッフとは、全く考え方が違ったのです。そのような厳しい状況でしたが、ケースを通してスタッフの何人かは徐々に理解してくれるようになりましたよ。

その次に、社会福祉法人の運営する特養に勤めました。そこではOTとしてやりたいようにやらせてもらいました。でも、その結果、介護スタッフに負担がかかり、スタッフと険悪にもなったこともありましたよ。でも、一緒にやりながら理解し合いました。はじめの頃は、介護スタッフが僕のことを「あの人はなにする人ですか？」と聞いていたこともあったようです。「リハビリって歩かせたりするんじゃないんですか？」、「あの人は全然そんなことはしていませんよ。」って…。僕は仕事をしていない人だと思われていたみたいです（笑）。

**施設で新たなことをしようとすると、時間や場所、人員などの縛りがあって苦労しますね。リスクがあるからと反対されたりもします。もっと自由で柔軟な支援ができたらいいなと思いますよね。**

新たなことをしたい、と提案すると、「介護スタッフのシフトを組むのが大変だからダメ」と言われたことがありました。日勤の中から参加スタッフを出せないと。それなら僕がシフトを作るから、と言って半年間くらい介護職員のシフトを作っていたこともありました。それ位のことをしないと他職種と共有できないのです。入浴介助や夜勤、日勤の人数を考えて、残業の計算もして。全部Excelで作りましたよ。でも、実際に自分がシフトを作ってみて、確かに難しいことを頼んでいることには気づいたので、元々シフト担当だった人には、「ゴメンね。難しい事を言って」と謝りました。でも、きちんとしたExcelデータになっていたので、仕事もしやすくなり、結果的には役立ったと喜ばれましたよ。

**何か新しいことをしようとする時に、スタッフに「大変だ」「仕事が増える」と思われてしまうのは絶対に良くないですよね。利用者さんにとっても、スタッフにとっても良かったと思える形になるといいですよね。**

そうなんです。スタッフって、利用者さんがいい顔をすると喜ぶんですよ。すごく喜んで「いい事しました！」となるのです。だから、多少の衝突があっても、一緒にやっていく中で良い関わりを理解してもらえると思っています。

でも実際には、全スタッフが同じ方向を見るのは非常に難しいことです。40人スタッフがいて30人が理解をしていても、残りの10人は反発をしているかもしれない、ということも解っていないとダメですからね。最近流行っている“リーダーの条件”みたいな本にも、同じようなことが書いてありましたから今更って感じかもしれませんが、反発勢力をゼロにすることは難しいですからね。

**色々なご経験をされている谷川先生ですが、認知症の方との関わりで一番大切にしたいと思うことを、是非教えて下さい。**

他職種から、「OTは良いところを見ようとしますよね」と言われます。それは大切にしたいと思っています。OTが普通にやっていることが、相手の気付きのきっかけになるのって、すごくいいなって思います。「良いところを見る」のを忘れないようにしたいし、意図的にやりたいですね。特に認知症の方の場合は、出来ない所に目が向きやすいですからね。“視点を変える”“価値観を変える”と言うことを大切にしていますね。

OTとしては、“出来ること”“出来そうなこと”をしっかり見ていきたいですね。そして、段階付けをしてそれを説明できるのもOTならではだと思いますね。“出来る”“手伝えば出来る”“見ていれば出来る”“もう少しで出来る”みたいに段階付けて見ていくのです。認知症で「先を考える」ことって、他職種はほとんどしませんからね。みんな、認知症の方は落ちていくばっかりだと思っているから。そういった「できる」ことを見ていく視点はOTじゃなきゃ！と思っています。

**認知症の方の「出来る」ことを家族や周囲の方に見せたいですよね。**

そうですね。それに気付けると、家族ともスタッフとも仲良くなれるんですよ。気持ちの上で繋がる感じがして、嬉しいですよね。上辺の繋がりだけでは全然嬉しくないのですが、事例を中心にして“気持ちで繋がった”感覚があると本当に嬉しいですよ。ちょっとしたことで目配せした時とかに、ニコってお互い笑顔が出たりすると、あ～現場にいて良かったなと思います。

次号に続く（文責：地域リハビリテーション部　河村）

# 第15回　神奈川県作業療法学会 演題募集のお知らせ

演題採択委員会委員長
横浜リハビリテーション専門学校
内山　博之

第15回神奈川県作業療法学会演題採択委員会委員長の内山です。県士会ニュースや県学会公式ホームページでお知らせしている通り、2015年４月19日（日）に横浜リハビリテーション専門学校にて第15回県学会を開催致します。

現在、我々は、水島眞由美学会長のもと、「原点回帰　～作療療法の面白さを知ろう・伝えよう～」というテーマにそって準備を進めております。今回は、県士会ニュースの場をお借りして、演題募集についてお願いをさせていただきます。

神奈川県作業療法士会の会員数は毎年順調に伸び、現在では1874名（2013年度現在）に至っております。またその中で臨床経験１年～５年目の若手の先生方は、662名で会員全体の35.3％の割合になっております。（第１回代議員総会議案書より）

そういった意味で若手が多い将来性のある県士会組織であるといえるでしょう。そして　その若手の作業療法士を育成するのも、県士会の大切な役割の一つでもあります。

我々実行委員も若手の先生方が気兼ねなく発表でき、建設的な議論ができるよう環境を作っていこうと考えております。また、県学会のホームページ上に「マンガでわかるはじめての学会発表」というタイトルにて連載形式でわかりやすく臨床研究・学会発表のノウハウをお伝えしております。（広報部の企画）

学会発表をしてみたいと思ったときがチャンスです。一歩踏み出して、是非応募してください。また、ベテランの先生方におきましても、日頃の研究結果や積み重ねた研究成果を後輩の育成や作業療法の発展のために是非、県学会で発表していただきますようお願いいたします。若手とベテラン、主催者と発表者と参加者が活発に相互の交流し、全ての方々に実りの多い場にしていきたいと思っています。

なお、本学会では基本的に口述発表での募集となっております。演題登録につきましては、県学会ホームページ上でのオンライン登録となり、演題募集期間は８月１日～11月30日となります。詳細については、近々ホームページや県士会ニュースでご案内いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

横浜リハビリテーション専門学校（学会会場）

# 第15回　神奈川県作業療法学会 演題募集（詳細）

演題採択委員会　　内山　博之

兼ねてより県士会ニュース、学会ホームページよりお知らせしておりますが、第15回神奈川県作業療法学会が横浜リハビリテーション専門学校で開催されます。今回はこの場をお借りして演題募集の概要をご案内させていただきます。募集についての詳細はホームページ上の演題募集要項でご確認いただきます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

## 演題募集概要

Ⅰ．応募資格

筆頭者演者（発表者）が神奈川県作業療法士会正会員であることが要件となります。ただし、演題募集の締め切り時点において、筆頭演者が2014年度の神奈川県作業療法士会会費未納者の場合、応募資格がありません。応募前に必ず会費を納入してください。

Ⅱ．受付期間

2014年８月１日（金）～2014年11月30日（日）

Ⅲ．募集内容と発表形式

１．募集内容

一般演題

（口述発表、一部ポスター発表の可能性）

２．発表形式

①口述発表で、発表時間は７分（質疑応答３分）です。

②ビジュアルエイドとしてパソコンとプロジェクター、Microsoftパワーポイントをご用意いたします。発表用データは、「USBフラッシュメモリー」に入れてお持ち込みください。

Ⅳ．演題内容に関わる倫理的事項について

対象者・被験者への研究参加への同意やその旨の記載、所属機関での承認等には十分ご配慮ください。詳細はホームページの募集要領よりご確認ください。

Ⅴ．応募方法

神奈川県学会ホームページより、オンライン登録となります。

http://kana-ot.jp/congress/kotc15th/toppage/subject

Ⅵ．演題採択結果通知

最終的な「演題採択結果の通知」は、応募から１か月を目処に演題採択委員会より電子メール（応募時のアドレスに返信）で筆頭演者宛てに通知いたします。

Ⅶ．基礎研修ポイント

本学会にて演題発表を行った場合は、（社）日本作業療法士協会　基礎研修ポイント２ポイントが付与されます。

（演題募集に関するお問い合わせ）
第15回神奈川県作業療法学会　演題採択委員会
横浜リハビリテーション専門学校　作業療法学科
〒244-0801　横浜市戸塚区品濃町550-1
TEL：045-826-7553　FAX：045-826-7551
※演題採択委員会のメールアドレスはこちら
→15th-kaotcongress@kana-ot.jp

# 第15回 神奈川県作業療法学会
## 協賛金・プログラム集広告募集のご案内

学会長　水島　眞由美

本学会開催にあたり協賛協力依頼ならびに学会プログラム集広告掲載の募集をいたします。以下の各募集要項をご確認いただき、会員個人ならびに会員施設でのご検討をお願い致します。

**【協賛金募集要項】**

1．協賛金の名称：
　第15回　神奈川県作業療法学会　協賛金
2．募集期限：2014年12月19日（金）まで
3．協賛金を必要とする理由
　本学会の学会参加予定者数は600名を予定しております。来場者は神奈川県内（県外も含む）の有資格者及び学生です。時節柄、開催経費の削減に鋭意努力しているところでございますが、参加費等で全ての経費をまかなうことが困難と予想されます。つきましては、本学会の開催趣旨をご理解いただきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
4．協賛金の使途：
　第15回神奈川県作業療法学会の準備、運営のための諸費用
5．金　　額：一口 5,000 円（何口でも結構です）
6．特　　典：
　1）第15回神奈川県作業療法学会プログラム集及び、学会ホームページに協賛者名を掲載させていただきます。プログラム集の協賛者名掲載につきましては、印刷の都合上2014年12月19日（金）までのお申し込み分までとさせていただきます。
　2）ご希望により、学会ホームページに協賛者のホームページをリンクいたします。尚、ホームページへのリンク期間は協賛金入金確認後からサイト閉鎖までとさせていただきます。

**【プログラム広告募集要項】**

1．発行概要
●名　　称：
　第15回　神奈川県作業療法学会プログラム集
●発行部数：2,000部（予定）
●配布対象：
　神奈川県士会員1700名に事前に郵送及び当日会場で配布
●規　　格：白黒　A4判　60頁（予定）
●発 行 日：2014年　２月末（予定）
2．募集締め切り：2014年12月19日（金）
3．広告掲載料
●表４（裏表紙）　　1本　￥25,000
●表２（表紙裏面）　1本　￥22,000
●表３（裏表紙裏面）1本　￥22,000
●１頁：￥20,000
●1/2頁：￥10,000
●1/4頁：￥5,000
※同じ広告枠に複数の企業及び施設の希望がございましたら、申込順とさせて頂きます。掲載順番等については、ご一任願います。

※協賛金・プログラム集広告募集　申込などの詳細は、下記にお問い合わせください。
●第15回　神奈川県作業療法学会事務局　渉外担当
　TEL：045-826-7553
　（横浜リハビリテーション専門学校　教務部作業療法学科内）
E-mail :15th-jimu@kana-ot.jp
●第15回　神奈川県作業療法学会HP
　http://kana-ot.jp/congress/kotc15th

# 平成26年度　研究助成事業　研究課題募集のお知らせ

## 一般社団法人　神奈川県作業療法士会　学術部

1．応募資格者　神奈川県作業療法士正会員（応募年度までの会費納入済みの方）
2．研究組織　３法人以上の神奈川県作業療法士正会員を含む研究者で構成交付決定
3．研究期間　平成26年10月中～平成28年３月31日（約18カ月間）
4．公募期間　平成26年５月１日～平成26年７月31日
5．課題採択の可否　平成26年８月末日までに事前評価委員会にて決定
6．応募・投稿義務
①神奈川県作業療法学会または日本作業療法学会への応募
②「神奈川作業療法研究」または「作業療法」への投稿
7．研究計画書書式　神奈川県作業療法士会ウェブサイトよりダウンロードして使用すること
その他ウェブサイトを参照
8．助成金　研究課題１件に対し最大20万円助成

過去に、研究助成事業を受けた方から、このような感想をいただきました。

わたしは2012年度の研究助成を頂き、研究を行いました。入職一年目の私にとって研究のいろはを学ぶ上でも恵まれた経験であり、このような機会をいただき、ありがたく存じます。

また共同研究者の方々と共に行うことでアイディアは広がり、１人では成し遂げられないことも可能となりました。今後はこの貴重な経験を生かし、臨床、研究ともに積極的に取り組んで行きたいと思います。

※「研究」となると、敷居が高く感じられるかもしれませんが、まずはチャレンジしてみようといったものでも相談に乗れます。また各SIGでも活用していただき、SIGのアピールやSIG会員間の絆に繋げられると思います。

相談先：衣笠病院　安部剛央　slash-take0827@tbz.t-com.ne.jp

奮って、ご応募ください！！

# 第１回「昭和上條医療賞」平成26年度顕彰募集のお知らせ

主催：
公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団

顕彰対象者：
医学・医療の振興を目的として、医療人育成に関する優れた活動および地域医療に貢献する医療活動を実践した個人又は団体

顕彰副賞：
７件以内（総額350万円）

対象活動：
（１）医学・医療教育分野において優れた成果を挙げた独創的・革新的な活動
（２）地域住民の保健衛生の向上に貢献した幅広い地域医療活動または優れたチーム医療の取組みや患者本位の医療の貢献に優れた成果を挙げた独創的医療技術の開発

応募資格：
上記対象領域の諸活動の実践者又は実践団体

応募期間：
平成26年４月１日～９月30日

決定・支給：
採否通知　平成26年11月中旬

授賞式：
平成26年12月中旬

応募方法：
HPをご確認ください　http://showa-mf.jp/

# 各部からの報告

## 福利部

### 新企画「スポットライト～OTの生き方～」次号からスタート！

福利部では次号から会員の皆さまにスポットライトを当て、日々の業務や職場外での活動、ワークライフバランスの取り方などを紹介する企画「スポットライト～OTの生き方～」をスタートします！

この企画を通して、会員の皆さまの相互理解、交流の促進につなげていきたいと考えています。

第１弾は、育児をしながら日々の業務をこなしているママさんOTを特集します。

次号県士会ニュースを乞うご期待！！

（文責：福利部　吉本）

## ウェブサイト管理委員会

### Web版アンケート：スマホ対応表示について

よこ太：ホフォホフォホフォホフォー

ハマ子：あれ？あんた、スマホだっけ？

よこ太：ノノノノノッ。これは、スマ・フォー！

ハマ子：どっちでも良いから。おっiPh○neだね。

よこ太：それ、伏せ字になってないけど…

ハマ子：だから？

よこ太：あっいや…あっそうそう、県士会サイトってスマホに対応しているの知ってた？

ハマ子：全ページじゃないわよ。今は求人情報と講習会・研修会のみよ。

よこ太：シンプルでとても見やすいよ。全ページ、対応させれば良いのに。

ハマ子：でもね、シンプルだけに切り捨てている部分もあるからって、委員長は悩んでいるのよ。

よこ太：あー髪の毛のことで？

ハマ子：スマホ対応表示だと記事のタイトルが新しい順にいくつかが表示されるだけでしょ。でも、PC版だと、サイドバーやナビゲーションバーがあるから、新しい記事以外にもアクセスしやすいの。

よこ太：つまり、新しい記事をチェックするだけならスマホで良いけど、スマホでは、古いけど有益な記事を見つけられないということか。

ハマ子：おっいきなりまともなことを言う！今、ウェブ管ではスマホ表示についてWebにて緊急アンケートを行っています。今後のスマホ対応への参考にします。ぜひご協力を！トップページから！

**平成26年５月アクセスランキング**

１位　作業療法Tips & PDF　24169件
２位　講習会・研修会　20217件
３位　必見！OTのすご技・アイデア集　18092件
４位　求人情報掲載板　9271件
５位　月刊よっしーワールド　5557件

**平成26年５月県士会ブログランキング**

１位　ウェブ管的知恵袋　392件
２位　KAOT：社会保障対策委員会　236件
３位　つぶやきshow!!　222件

**更新件数：53件　訪問者延べ数：22345人**

Kanaからの手紙発行回数：21回　登録者：177名

Twitter（ID:kaotwebkan）：フォロアー250名

（文責：ウェブサイト管理委員会　作田）

# 地域リハビリテーション部

**≪今年度の研修会開催予定≫**

「生活行為向上マネジメント講習会」
９／17、11／19　　19：00～20：30
於：横浜YMCA学院専門学校
「OT・PSW合同研修会（仮）」　９／20
於：ウィリング上大岡
「ALSコミュニケーション支援講習会」日時・会場：未定

※今年度より訪問リハビリテーションに関する研修会等は全て神奈川県訪問リハビリテーション協議会が企画・運営いたします。開催情報は別途会員の皆様に周知いたします。

**≪生活行為向上マネジメントの普及活動について≫**

「生活行為向上マネジメント」を普及するため、各施設・事業所にて説明会を実施いたします。ご希望される場合は詳細をお知らせいたしますので、必要事項を記入のうえ、下記宛にEmailにてご連絡ください。
（現在実施施設は２施設です）

宛先：chiikireha@kana-ot.jp
　　地域リハビリテーション部　木村宛
件名：「生活行為向上マネジメント説明会希望」
内容：１）所属施設名
　　２）所属施設住所
　　３）OT部門代表者
　　４）窓口担当者
　　５）連絡先TEL
　　６）連絡先Email
　　７）所属OTの人数
　　８）希望日時（複数指定）

（文責：地域リハビリテーション部　木村）

# 教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

**○連載！**

## 「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今号の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、今年度の教育部主催のOT協会生涯教育制度関連の研修会に関してお知らせします。原稿提出の段階で未定な研修会が多くありますが、例年通り以下の研修会を開催します。開催情報は県士会ニュース、県士会ウェブサイトに掲載しますのでご注意ください。

１．現職者共通研修：全10テーマ、生涯教育制度の必須基礎研修で、テーマ毎に受講します。
　第１回現職者共通研修は、10月開催予定です。なお、この際に「県士会新入会員オリエンテーションと歓迎会」が開催されます（福利部主催）。新入会の方はぜひご参加ください。先輩会員は新入会員にお声かけいただいたり、OT協会、県士会への入会をおすすめください。

＊今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。

２．現職者選択研修：領域別（身体・老年期・精神・発達の各障害領域）の生涯教育制度必須基礎研修で、２領域を選択受講します。受講修了には一領域：90分×４コマの一括受講が必要ですが、コマ単位での部分受講も可能です（ただし受講修了したとは認められません）。なお、選択領域は業務の領域とは関係ありません。

＊今年度は、身体障害領域、老年期障害領域を2015年になって開催します。詳細は決まり次第お知らせします。

３．事例報告登録制度研修会：事例報告登録は認定作業療法士申請に必須です。毎年OT協会学術部にご協力いただいて開催しています。詳細は決まり次第お知らせします。

ご不明の点はご連絡ください。県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部　奥原孝幸（昭和大学）
045-985-6500（代）、kyoiku@kana-ot.jp

理事会報告

# 平成26年度　第１回　一般社団法人神奈川県作業療法士会理事会　抄録

日　　時：平成26年５月29日（木）19：00～20：15
場　　所：神奈川県作業療法士会事務所
出席理事：渡邉、錠内、中西、澤口、福留、奥原、吉本、木村、鈴木(久)、沼田、三浦、作田、内山、鈴木(孝)
委任理事：野々垣、出口　　出席監事：淺井　　委任監事：清宮
そ の 他：酒井・中山（広報部）、金山・井戸川（事務局書記）

●事務局（澤口事務局長）
①渉外関連
・神奈川県病院協会　定時総会後懇親会
日時：H26/ ６/19（水）　18時～
場所：ホテルキャメロットジャパン
⇒WFOT会期中のため欠席にて返信済み
・神奈川県医療専門職連合会（今年度より事務局担当）としての神奈川県病院協会　定時総会後懇親会
⇒同会副会長の県臨床工学技士会小林会長へ出席依頼済み
・都道府県OT連絡協議会　平成26年度総会
日時：H26/ ６/ １（日）　９時30分～
場所：TKP浜松町ビジネスセンター　出席者：渡邉会長
・横浜リハビリテーション専門学校校長歓送迎会
日時：H26/ ６/ １日（日）14時～
場所：横浜ベイシェラトン　出席者：澤口事務局長
・神奈川県医療専門職連合会　当面の日程
定例理事会：H26/ ７/17日（木）
場所：神奈川県士会事務所
事業企画広報合同委員会：H26/ ７/23（水）　場所：同上
市民公開セミナー「介助犬のデモと講演」：
H26/10/19（日）13：30～15：30
場所：横浜ワールドポーターズ６階イベントホール
②OT協会関連
・介護予防市町村支援事業実施要綱の一部改正について情報提供とお願い
平成26年４月１日より適用。事業の目的の中に「リハビリテーション専門職等を積極的に活用し、要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指す」ことが明記。かつ、具体的な取り組みのために、介護予防市長村し円委員会の設置・運営が掲げられており、作業療法士がこの介護予防市町村支援委員会の委員として積極的に活用していただく旨の要望書を都道府県宛てに送付を行った。また、実施主体である市町村担当課に働きかけをお願いしたい。介護予防市町村支援委員会と地域ケア会議の連携を検討。
③後援名義使用依頼⇒全て承認
・横浜市総合リハビリテーションセンター「ヨコハマヒューマン＆テクノランド2014」
日時：H26/ ７/11（金）～12（土）
場所：パシフィコ横浜
④派遣依頼
・第33回神奈川県病院学会「地域医療連携の推進Part3」
日時：H26/10/27（月）13：00-17：45
会場：神奈川県総合医療会館
次回の学術委員会：H26/ ９/ ３（水）　出席者：中西副会長
当会への依頼：シンポジスト１名の選出／開催日の手伝い（会場設営・誘導）２名程度（中西理事一任）当会会員より演題応募があった場合、座長の選出となる
・神奈川県医療専門職連合会　通常総会
日時：H26/ ６/23（月）18：30～
場所：横浜市技能文化会館８階大研修室
内容：通常総会・公開講演「診療報酬改正について」
当会の役割：司会（澤口事務局長）、開会挨拶（渡邉会長）、受付等（澤口事務局長・名古屋事務局次長・事務局員）は決定。書記（作業療法士会より２名）、診療報酬改正について講演（１名）については検討　（澤口事務局長一任）。

●財務部（野々垣理事）
①会費の納入状況
・銀行口座引落し：４/ ４（9,240,500円）、５/ ７（898,000円）の２回引き落としを実施。以降４/ ４、７/ ４、８/ ４、９/ ４が引落し日
②平成25年度会費未納者に対する会員資格喪失と口座振替用紙の送付けについて
・H26/ ４/17に343名に対し書類を送付した。会員数1,845名から未納者314名を引いた1,531名が５月26日の会員数であるが、事務局資料と異なるため確認する。
・郵便振替希望者に対する払込取扱票の送付について
H26/5/15に45名に対し書類を送付した。

●学術部（福留理事）
・部員承認：学術編集員　鈴木誠氏（北里大学）→承認

●広報部（酒井部員代読）
①ニュース発行予定について
167号は５月末に発行が済んだ。次回168号は７月末の発行予定。締め切りを６/16（月）と設定する。世界連盟大会に関する記事については、6/25（水）～27（金）まで猶予を設定する。この日時が過ぎた場合、編集作業・発行が遅れる可能性があるため、お詫びの記事を加える。
②WFOT Congress2014事務局との打ち合わせについて
世界連盟大会開催後の総括記事を依頼。県士会ニュースに原稿掲載を予定している（１頁程度）。大会事務局永川真須美氏を通して、広報委員長、その他関係先生方と調整中。
③一般県民を対象とした企画について
・「模原市民さくら祭り」への体験型ブース出展について
日時：H26/ ４/ ５（土）・６（日）
場所：相模原市役所前　大通り
内容：自助具（ボタンエイド）作成体験、OTパンフレット配布100部
・ラジオ出演について：AMラジオ日本での出演はH26/ ３/27をもって最終回。今後FMさがみでの出演を検討中。
・「横浜ヒューマンテクノランド」への出展について
日時：H26/ ７/11（金）
・「『骨を知る』フォーラム」へのブース出展について
NHKへ打診中　７月に横浜会場予定。
④広報グッズの作成について
・エコバック作成（３月発注・作成完了）
・今後クリアファイル・ペットボトルオープナー作成予定

●福利部（吉本理事）
①求人・求職の登録および情報提供（2014/ ４/ １～5/28）
・新規掲載依頼：のべ40件　変更依頼：のべ10件
削除依頼：のべ５件　問い合わせ：１件　⇒対応済み
・今年度よりフォーマット変更実施（WEBサイト管理委員会と協議連動）：交通アクセス、車通勤の可否、若手研修の有無、託児所の有無を追加
②新入会員オリエンテーション＆歓迎会
教育部の現職者講習と同日に横浜リハビリテーション専門学校にて開催検討中。日程は教育部の奥原理事と協議中だが、10月初旬～中旬の土曜日で検討している。

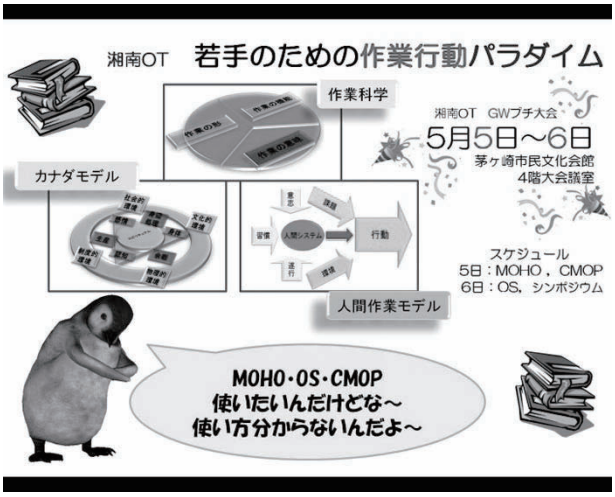
●地域リハビリテーション部（木村理事）
・地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業の実施に伴う後援名義の使用承認並びに事業協力等について建築士会からの依頼あり。モデル事業から進めていく方向。
・地域ケア会議および（新）地域リハビリテーション活動支援事業における作業療法士の活用について：窓口の設定や各自治体への通知、人材育成について当士会の動き方を提案する。
・部員承認：吉田倫子・渡邉隼人（さがみリハビリテーション病院）、村仲隼一郎（ふれあい平塚ホスピタル）⇒承認

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会Webへ
（文責：澤口）

# SIGからのお知らせ
(Special Interest Group)

## 湘南OT交流会　活動報告

### 若手のための作業行動パラダイム




近年、作業に焦点をあてた作業療法の流れが強くなっている印象を受けます。しかし、方法論を学ぶも、難しいと感じたり、他部門からの否定的な視線に対して、反論できない！行いたいけれども導入できない！など、悩みを持つ作業療法士は少なくないようです。

こういった悩みに応えるべく、企画を致しました。本企画は、学びの第一歩としての入り口提示を目的としたため、理論的な講習ではなく、各講師が経験した悩み、理論との出会い、学び、実践での利用という部分を中心にお話しいただきました。内容は、当会のコンセプトである、分かりやすく！楽しく！誰にでも！を満たした内容とし、交流を深められるような工夫が組み込まれています。

【本企画のスケジュール】
第一部：人間作業モデル（MOHO）
第二部：カナダ作業遂行モデル（CMOP）
第三部：作業科学（OS）
第四部：ワールドカフェ形式の検討会

ご参加いただいた方の中には、作業療法の学生も含まれており、学生でも理解しやすい内容であったようです。

茅ヶ崎リハビリテーション専門学校　山田くるみさん（OTS）の感想

私は湘南OTに初めて参加させていただきましたが、その頃、私は実習中で作業に視点を置く作業療法を学んでいました。今までに見た作業療法は機能障害に対するものであったため、評価・観察の方法について混乱しておりました。しかし「作業に視点を置く」という言葉に興味を持ち「作業とは何だろう？」「作業はどのように探すのだろう？」と疑問が湧いたため、今回の勉強会に参加を決めました。

発表では、いきなりテーマに沿った話が始まるのではなく、発表者の先生の自己紹介、OTを目指したきっかけ、今までに経験されたことから入り、とても聞きやすく感じました。

用語は難しく理解に困りましたが、一つ一つの解説を聞くことで疑問が解消されました。評価で対象者がどういった作業機能障害を感じているのかを知ることができ、これらの情報から障害を解決するために必要な作業選択と環境設定が判断できるのだと理解しました。そして、各種理論は「その人らしい作業」の発見をする手がかりになると考えました。

今回の勉強会ですべてを理解することはできませんでしたが、吸収できたことは大切にし、磨きをかけられるよう、更に勉強していきたいと思います。

今後も湘南OT交流会は、全国へ研修の旅に出なくとも、ある程度の知識を得られる会として、特定の理論やモデルに捉われず、様々な内容を網羅し、誰にでも分かりやすい会として神奈川県、近隣県の皆さまに有益である会を目指したいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

湘南OT交流会
藤本一博

【講習会の様子】

【ワールドカフェの様子】

# 脳外傷の作業療法研究会

脳外傷者へのリハビリテーションは、身体機能や高次脳機能障害といった様々な重複障害により、臨床での支援技術には多様性が求められます。病院から在宅生活にかけても長い経過を辿り、医療から福祉分野にかけて様々な職種が関わります。また医学的リハ段階、生活リハ段階、職業リハ段階と、各時期に応じてアプローチする課題も変化していきます。当研究会は、多職種が関わる脳外傷のリハビリテーションの中でOTの専門性を模索する中で発足し、脳外傷者の心身機能や日常活動を治療・支援する技術を高め、実践者のネットワーク作りを目的に活動しています。

昨年に引き続き、今年度は医学的時期のリハビリテーションをテーマに２日間の講習会を開催しました。内容は神奈川リハビリテーション病院での取り組みの紹介、OT科での身体・認知機能に対するアプローチ、集団訓練・APDLについてなどでした。また2日目には退院後の生活へつなげるためにどのようにアプローチを進めていくかグループワーク形式で症例検討会を実施しました。

アンケートではリハドクターの視点から話を聞けたこと、他の病院での取り組みを知ることができたことなどが良かったようです。また２回目の参加者から、昨年の受講時と比べスキルアップを実感できたといった感想をいただきました。

今後も、日常の臨床活動の成果を情報発信できるように実技形式の講習会を年に一回開催予定です。脳外傷の作業療法にご興味のある方はぜひご参加ください。

# 北里作業療法学会

本学会は北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻の卒業生・教員を中心とした団体で、学術研鑽・会員間のネットワーク作りを目的に、平成10年に創設されました。初代会長は当大学、淺井憲義前教授が務め、以後多くの卒業生が学会運営を担当し、今年度で15回目となります。

平成19年には神奈川県作業療法士会の認定SIG団体に登録され、当大学の卒業生以外の方々も多く参加されております。

詳しくは当学会HP
（URL：http://kitasato-ot.kenkyuukai.jp/）

またFacebook（北里　作業療法）
でも情報を更新していきますので、是非一度ご覧頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

**H26年度の活動予定**

８月23日（土）
北里作業療法学会研修会（14：00～17：00）
開催場所：北里大学医療衛生学部A3-33
テ　ー　マ：「行動練習の可能性」
講　　師：鈴木　誠　教授
（北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻）
※お申し込み方法は県士会HPより確認をお願い致します。

11月29日（予定）
北里作業療法学会　学術集会
実行委員長　15期卒業生　大塚　璃沙
※詳細は当学会HP、県士会HPで随時お知らせ致します。

# 小田原OT勉強会

この勉強会は平成15年４月から活動しており、平成17年５月に日本作業療法士協会（OT協会）のSIG認定団体として登録されました。

名前の由来は文字通り、小田原で開催している勉強会だからという何のひねりもないストレートな理由です。そしてこれまた名前のとおり、勉強会としての最小の機能に絞って参加費無料で開催しています。

参加者は今では小田原市外の方の方が多くなり（県外からの参加者もいます）急性期、回復期、老健などさまざまな分野に勤務している参加者が集まり、時にはPT初め多職種の参加もあります。

特定の手技や分野に拘泥せず、参加者がその時に一番興味をもっていることを発表し聞き合う…という方法です。

８月と３月の勉強会はお休みですが、毎月第２水曜日の19時から20時30分まで小田原駅西口にある国際医療福祉大学の１室をお借りして開催しています。勉強会内容は神奈川県作業療法士会のサイトに掲載されますのでご参照ください。直接ご来場くださって大丈夫ですが、何かご不明なことがありましたらご遠慮なく担当者までご連絡ください。ご参加お待ちしております。

担当：曽我病院　佐藤良枝
電話：0465-42-1630（内線829）
Mail：yoshiemon.at@gmail.com

## 求人案内

求　人

### 作業療法士募集
### 介護老人保健施設みどりの杜

http://www.midorinokaze.or.jp

入所から通所、訪問リハと幅広く経験がつめ、スキルアップのための学会・研修参加も応援します！！

募集人員：常勤１名
　　ブランクのある方、新卒も歓迎
応募資格：作業療法士・普通自動車免許を有する方
給　　与：225,000円～283,000円　昇給年１回、
　　賞与年２回（前年実績４カ月）
福利厚生：社保完備、退職金制度、諸手当あり
勤務時間：月～金８：45～17：45
休　　日：土・日、年末年始、夏季休暇、
　　長期休暇相談可
そ の 他：車両通勤可、研修費補助あり
応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、
　　免許証の写しをご持参ください。

◇お気軽にお問い合わせ下さい。ご見学のみでも結構です◇

**介護老人保健施設みどりの杜**
事務長　佐藤（さとう）
〒226-0024　横浜市緑区西八朔町99番地１
TEL：045-929-5000
E-mail：kkojim@d2.dion.ne.jp

求　人

### 作業療法士募集

募集人員：非常勤（OTあるいはPT）
募集内容：小規模通所介護（10名定員）での機能
　　訓練指導員としてのリハビリ業務
給　　与：2,000円／時給
勤務時間：10：15～15：15
　　※時間等は相談に応じます
休日休暇：土日休み、有給休暇、年末年始等
　　※曜日等は相談に応じます
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参ください
交　　通：小田急江ノ島線「長後駅」徒歩５分

株式会社
**育心リハビリテーションサービス**
〒252-0807　神奈川県藤沢市下土棚556-33
TEL：0466-44-0737
E-Mail　ikusin-reha@ac.auone-net.jp
URL　http://www.ac.auone-net.jp/~ikusin
担当者　野村

求　人

## 作業療法士募集

募集人員：常勤　１名
施設概要：精神科、病床184床、
精神科作業療法、デイケア
給　　与：当院規定による
（経験等により応相談）
待　　遇：昇給年１回、賞与年２回
各種保険加入、交通費支給
退職金制度有り
勤務時間：8：45～17：00
休日休暇：４週８休、夏季、年末年始、
有給休暇あり
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛にご郵送下さい
交　　通：JR宮山駅より徒歩７分

随時見学可能です。お気軽にお問合せ下さい

医療法人社団 朋友会
けやきの森病院
〒253-0106　神奈川県高座郡寒川町宮山3505
TEL：0467-74-5331（代）
ホームページ　http://www.keyakinomori.jp
担当者　事務長　平林

求　人

## 作業療法士募集

訪問看護リハビリステーションを横浜の羽沢に開業しました。笑顔の絶えない職場です。ぜひ、貴方のお力を貸してください
募集人員：常勤または、パート
応募資格：作業療法士免許を有する方
普通免許を有する方
待　　遇：給与（常勤）　30万円～
（パート）時給1500円～または
訪問一件につき4000円
休日　土日祝日　夏季・年末年始
勤務時間：常勤　月～金　９時～18時
パート　週１日　３時間程度～OK
手　　当：交通費相当分支給
※頻度・時間等は相談に応じます
まずは、お気軽にお問合せください

問い合わせ先
**ケアーズ訪問看護**
**リハビリステーション羽沢**
〒221-0866
横浜市神奈川区羽沢南２－43－7　603
TEL　045-373-3050　赤尾桃子まで

求　人

## 作業療法士募集

横須賀市で地域に根差したリハビリテーションを行っています。一緒に働きませんか！！
募集人員：常勤老健勤務（入所・通所）１名
常勤訪問勤務１名
非常勤老健勤務（入所・通所）若干名
応募資格：作業療法士免許を有する方
施設概要：入所　150　通所　42　訪問リハビリ
（訪問リハビリ　サテライト有り）
待　　遇：常勤　当施設規定により支給
（経験年数考慮）　昇給　年１回
賞与　年２回（７・12月）
非 常 勤：2,000円／時給　交通費支給（月額）
勤務時間：日勤　8：30～17：30まで
※非常勤　時間・曜日等、応相談
休　　日：年間120日（勤務シフトにより）
有給休暇　特別休暇等
そ の 他：グループ老健・病院リハスタッフ合同の定期的勉強会あり現スタッフは、PT５名、OT５名、ST２名
応募方法：随時電話連絡の上。履歴書（写真貼付）、免許証の写しをご持参ください。
※まずはお気軽にお問い合わせ下さい
問い合わせ先
医療法人社団　哺育会
**介護老人保健施設　ハートケア湘南・芦名センター**
〒240-0104　横須賀市芦名　1-16-12
TEL046-852-5211（直通）　FAX046-857-1805
Ｅメール　rat0599@heartcare-shonanasina.com
ＨＰ　http://www.hc-shonanashina.jp/

求　人

## 作業療法士募集

☆在宅強化型に認定された介護老人保健施設です。昨年７月に訪問リハビリサービスを開始しました。

**リハビリ事業拡大に伴う増員です！！**

募集人員：常勤２名
施設概要：入所・短期（100床）　通所リハ（40名）
居宅介護支援　訪問リハビリ　訪問看護（施設内）
給　　与：当法人規定による
勤務時間：8：30～17：30
休　　日：週休２日制、有給休暇、夏季・年末年始、特別休暇
福利厚生：保育所完備、社員旅行（年１回）、勉強会（月１回）外部研修（不定期）
応募方法：電話連絡の上、履歴書の送付又はご持参願います。
※見学希望等、まずはお気軽にお問合せ下さい。

問い合わせ先
医療法人社団　恵生会
**介護老人保健施設リハセンターさわやか**
採用担当：近藤
〒241-0003　横浜市旭区白根町932-1
Tel：045-955-4165
Email：k-kondo@med-keiseikai.or.jp

# 「第41回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」

主催：厚生労働省／医療研修推進財団　共催
日時：東京地区　H27年１月13日（火）～平成27年２月６日（金）
※講習日は日曜日・祝日を除く月曜日から土曜日に開催
※大阪地区の開催もあり
場所：東京地区会場（３会場・講習日程により異なる）
・公益社団法人日本理学療法士協会田町会議室（東京都港区芝浦３－５－39）
・専門学校社会医学技術学院（東京都小金井市中町２－22－32）
・日本リハビリテーション専門学校（東京都豊島区高田３－６－18）
受講対象者：
（１）理学療法士又は作業療法士の免許を有する者
（２）免許取得後、原則として教員は５年以上、臨床指導者は３年以上（言語聴覚士は５年以上）の実務経験を有する者
（３）本講習会終了後も理学療法士又は作業療法士若しくは言語聴覚士の養成施設の教員などに従事する者及び将来従事しようとする者
受講申込：受講申込みは、受講希望者の所属する施設長が行うものとする。申込みを行う施設は、申込期限までに必要書類を用意の上、下記URLよりお申し込みください。http://www.pmet.or.jp/
必要書類：施設長の推薦書（任意様式）１部、受講者履歴書（写真不要）１部
問い合わせ先：（公財）医療研修推進財団PT・OT・ST事務局　TEL03-3501-6592
申込期限：平成26年８月８日（金）消印有効
経費：
・講習会開催に要する費用は開催者側の負担とする。
・受講のために要する費用（教材費の一部（40,000円）、宿泊費、食費、交通費等）は受講者の負担とする。
その他：留意事項・講習科目など詳細や必要書類の様式は神奈川県作業療法士会事務局へお問い合わせください。

## 研修会案内

### リハビリ実用英会話セミナー
主催：日本医療英会話協会
日時：2014年８月３日　日曜日　10時～15時

### 第15回日本認知神経リハビリテーション学会学術集会
日時：平成26年８月30日（土）～31日（日）
場所：神奈川県立青少年センター
内容：「半側空間無視と失行症－新たな理解への航海－」
※その他詳細は学会HPを参照
http://www.ctejapan.com/syukai/syukai.html

### リハプログラムに生かす画像セミナー
主催：兵庫医科大学リハビリテーション医学教室
日時：2014年９月７日（日）10時～16時00分（予定）
申込み方法：
HP参照　http://www.neuroreha.jp/pg1.html

### PT・OTスキルアップ研修会　基礎編－福祉用具等の適合相談のために－
主催：神奈川県作業療法士会福祉用具委員会
日時：平成26年８月２日（土）　９：45～16：00
平成26年９月７日（日）　10：00～16：30
場所：ウィリング横浜　介護実習室１

### 終末期・緩和ケア作業療法研究会第５回年次研修会in北海道
主催：終末期・緩和ケア作業療法研究会
日時：2014年９月27日（土）10：00～17：30
28日（日）９：30～12：40
場所：かでる2.7（北海道立道民活動センター）
参加費：会員8000円　非会員12000円
申込み方法：研究会ホームページへ
http://www.kanwaot.net/

講習会・研修会情報の詳細はこちらから➡
http://kana-ot.jp/wpm/lecture/

## 一般社団法人　神奈川県作業療法士会　学術部

## 平成26年度　神奈川作業療法研究　投稿論文募集のお知らせ

1. 発刊頻度　年１回（毎年３月発刊）
2. 募集の内容　研究論文、実践報告、総説、短報など
3. 投稿資格　神奈川県作業療法士正会員（投稿年度までの会費納入済みの方）
4. 査読　１投稿論文に対し、２名の査読者によって行う
5. 論文執筆支援制度　研究・論文執筆経験の少ない会員の希望により、テーマの決定から投稿に至るまでの一部または一連の過程に対して、助言・指導を行う。（制度利用年度までの会費納入済みの方）

その他 ウェブサイトを参照のこと

相談先：神奈川県立保健福祉大学　友利幸之介　tomori-k@kuhs.ac.jp

## 編集後記

WFOT2014大盛況でした。大会参加者は6000名を超えて、海外からの参加者も2000名近くあったそうです。

企画盛りだくさん、エキサイティングな毎日、学会の企画・運営に関わった全ての方々ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

この興奮をそのままに、次は県学会の演題募集が始まります。お見逃しなく。　(komi)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース　＜168号＞2014年７月発行（年６回発行）

発行責任者　渡邉愼一
編集責任者　出口弦舞
編集担当　小峰一宏（イムス横浜狩場脳神経外科病院）
山岡洸／岩瀬このみ／桜井大和（佐藤病院）
印刷　発送　第一資料印刷株式会社
事務局　〒231-0011　横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号　TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00～16：00　メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト http://kana-ot.jp　作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan